

1 PLAN(目的・概要)

政策名		環境にやさしく、夢・うるおいにぎわいのある親しまれる港づくり	4年度事業・施策評価結果			責任者	総務部 広報・にぎわい 振興担当課長
施策名		うるおいと魅力のある港湾空間の形成					
事務事業名		名古屋港のPR	継続	維持	維持	連絡先	052-654-7947
目的	対象(誰・何を)	県民市民、一般来港者、港湾関係者				連携課	行政管理課
	意図(どういう状態にしたいか)	名古屋港の取組、施策、状況、特徴や変化について広く関心や理解を得られる状態にする。				事業期間	昭和26年度～
概要		練習帆船・汽船等の誘致・一般公開を実施するとともに、「海の日名古屋みなと祭」開催に協力する。また、印刷物・広報番組・広報紙の作成・製作、港務艇による港内見学「みなと体験ツアー」の開催、ホームページの運営およびSNSを活用し、PRを実施する。				根拠法令等	
						実施義務	☐ 有 ☒ 無
						関連シート	

2 DO(実施)

令和5年度に実施した内容・結果	帆船(1隻)および汽船(3隻)の誘致、「海の日名古屋みなと祭」および「冬のイベント」開催、印刷物「Port of Nagoya」「要覧」「ようこそなごやこうへ」「わたしたちの名古屋港」の発行を行うとともに、広報番組「What's 名古屋港」(3回)・広報紙「広報なごや港」(4回)・新聞広告(15回)の製作、ホームページおよびSNS(Facebook、Instagram、X(旧Twitter)、YouTube)の運営・Instagramフォトコンテストの開催、「みなと体験ツアー」(14回)・PRイベントの実施や民間事業者による花火イベントの調整協力を行った。 帆船・汽船の一般公開および「海の日名古屋みなと祭」は、新型コロナウイルス感染症(以下「感染症」という)の影響により実施できていなかったが、令和5年は4年ぶりに開催した。						
コスト	単位	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	63,292	31,606	48,693	50,374	74,377	5年度の事業費の増加については、コロナが収束し港まつりが従来通り開催され、補助金等の支出も従来通りであったことが大きな要因
人件費	千円	82,566	82,449	81,000	81,000	81,900	
合計	千円	145,858	114,055	129,693	131,374	156,277	

3 CHECK(検証)

成果目標名		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	達成度	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
SNS投稿への「いいね」等の数(件)	目標	17,000	23,000	24,000	37,000	38,500	48%	名古屋港の関心を測る指標としてSNS (Facebook、Instagram(令和2年度～)、XおよびYouTube(令和4年度～))の投稿記事への「いいね」等のリアクション数を設定した。目標値は過去実績を踏まえ着実な向上を目指して設定した。	通信環境情報提供媒体の変化
	実績	22,900	21,881	30,115	40,083	18,413			
【単年度管理型】	事業進捗状況(5年間)		目標値を上回る 目標値をやや下回る				目標値どおり 目標値を下回る		
船舶一般公開見学者数(人)	目標	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	55%	目標値は、平成29年度の110周年を除いた過去5年間(平成24～28年度)の合計値(38,390人)の平均 38,390人÷5年間≒7,700人/年間	季節天候 感染症 寄港隻数 実施内容
	実績	17,509	0	0	0	3,857			
【単年度管理型】	事業進捗状況(5年間)		目標値を上回る 目標値をやや下回る				目標値どおり 目標値を下回る		
5年度までの達成状況に関する説明 (要因・課題)			SNS投稿については、5年間の達成度96%と概ね目標値を達成したが、5年度については投稿数が減少したため実績値が低下した。 船舶一般公開見学者数は令和2年～4年度は感染症の影響で実施できなかった。						
必要性・有効性・効率性の検証			評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？		○	名古屋港のPRは港湾管理者である本組合が主体的に取り組むべき事業と考える。加えて、民間事業者等の意見を取り入れながら港の認知度向上に資するように努めていく必要がある。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境に あっているか？		○						
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？		○	名古屋港への理解を深め、関心を高めることは施策目標の達成には必須の条件と考える。 FacebookおよびInstagramページ投稿への「いいね」等の数については、目標値に対し96%であり、特に最終年度の投稿が少なかったことが悔やまれる。					
	期待どおりの成果が得られているか？		○						
効率性	最小のコストとなっているか？		○	既存のイベントを最大限に有効活用しながら事業の実施が図られたと考える。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	6年度以降の方向性		判断理由	
	成果	コスト		
	継続	維持	維持	目的を達成するための事業の必要性に中期経営計画策定時から変化がないため。
		取組および資源（財・人）の投入は妥当である。現状を維持する。		
今後の課題等			6年度以降の取組	
利用者にとって、分かりやすく伝わりやすい情報発信とするための工夫や方法、利用者ニーズへの柔軟な対応が必要である。 投稿数を継続的に維持することによりSNS投稿への「いいね」の数の実績値の向上に努める必要がある。 船舶一般公開見学者数は寄港する船の数によって左右されることがあることから、一隻ごとの集客促進に努めていく必要がある。			情報発信の強化や、さらなる効果的なPRを行っていくため、多様なニーズの把握に努めるとともに、それらに対する的確な情報発信の工夫を図っていく。	

1 PLAN(目的・概要)

政策名		環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	4年度事業・施策評価結果			責任者	港営部 水族館事業担当課長
施策名				成果	コスト		
事務事業名		名古屋港水族館の振興	継続	拡大	拡大	連絡先	052-654-7715
目的	対象(誰・何を)	広く一般の利用者				連携課	
	意図(どういう状態にしたいか)	海洋文化の普及に努める。				事業期間	平成18年度～
概要		水族に関する知識を広め、水族への親しみを深めることにより、県民・市民の自然環境に対する意識の高揚を図るとともに、健全な余暇の活用に資する名古屋港水族館の振興を図る。				根拠法令等	指定管理者による公の施設の管理に関する条例、名古屋港水族館条例
						実施義務	☐ 有 ☒ 無
						関連シート	

2 DO(実施)

令和5年度に実施した内容・結果	指定管理者とのモニタリングを毎月実施した。指定管理者の業務内容は本組合が求める水準を上回ると評価し、それを本組合ホームページで公表した。指定管理者が、透明な水生生物や体型が細長い水生生物を展示する特別展の開催や、旅行会社主催による県内観光施設と連携したPRイベントに取り組むとともに、SNSを積極的に活用して集客に努めた。その結果、利用料金収入で運営でき収支不足に伴う指定管理料の支出は無く、収支の余剰については本組合へ納付された。 また、今後の水族館のあり方を示す名古屋港水族館事業運営計画策定調査を委託し、調査結果を取りまとめた。 さらに令和4年度に引き続き、施設の老朽化の状況を踏まえ、大規模補修と機能強化について愛知県、名古屋市と連携し検討した。						
コスト	単位	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	898,448	1,130,401	1,051,965	171,751	590,366	設備の老朽化に伴う補修費が増加したため、事業費が増加した。 大規模補修と機能強化に向けた計画策定要員が増加し人件費の増加につながった。
人件費	千円	39,448	39,392	38,700	47,700	55,510	
合計	千円	937,896	1,169,793	1,090,665	219,451	645,876	

3 CHECK(検証)

成果目標名		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	達成度	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
入館者数(万人)	目標	220	220	225	225	230	106%	指定管理者の目標値を参考に、直近5年の最高値(H29:約220万人)を5%上回る230万人を令和5年度目標値とする。	
	実績	200	92	132	206	244			
【単年度管理型】	事業進捗状況(5年間)		目標値を上回る 目標値をやや下回る			目標値どおり 目標値を下回る			
来館者の満足度(%)	目標	80.0	80.0	83.0	83.0	85.0	達成	平成30年度の満足度(80%)を6%上回る85%を令和5年度目標値とする。	
	実績	98.0	—	99.5	98.5	96.7			
【単年度管理型】	事業進捗状況(5年間)		目標値を上回る 目標値をやや下回る			目標値どおり 目標値を下回る			
5年度までの達成状況に関する説明 (要因・課題)			5年間の入館者数は、感染症の影響により令和2年度、3年度は落ち込みが特に大きかったため目標値を下回ったものの、令和5年度は、感染症が5類に移行したことに加え、特別展が好評を博したこと、シャチの公開トレーニングなどをSNSで積極的に発信し話題になったことなどの要因により、歴代2位の来客数となった。 5年間の満足度については、令和2年度は感染症の影響によりアンケートを実施できなかったが概ね目標値どおりとなっている。						
必要性・有効性・効率性の検証			評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？		○	親しまれる港づくりを推進するため、本組合が関与する必要があると考えている。また、広く一般の利用を対象として海洋文化の普及に努めており、利用者ニーズや社会環境に適合している。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？		○						
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？		○	魅力ある港湾空間の形成と海洋文化の普及に貢献している。 令和5年度の入館者数は、令和4年度より大幅に増加した。					
	期待どおりの成果が得られているか？		○						
効率性	最小のコストとなっているか？		○	施設の維持修繕等は優先順位を定め、最少のコストで最大の効果が得られるよう努めている。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	6年度以降の方向性		判断理由	
	成果	コスト		
	継続	拡大	拡大	大規模な改修等を見据えた計画の策定に向けた調査等の実施や、魅力向上に向けた施設の機能向上が必要であることからコストは拡大するが、これにより入館者数や満足度を拡大させる。
		資源（財・人）の投入を拡大し、取組を強化することによって成果をあげる必要がある。		
今後の課題等			6年度以降の取組	
他地域で新たな水族館の開園が予定されていることや、人口減少により入館者数の減少が予想される中、施設の老朽化や魅力向上への対応として、機能向上のあり方についての計画を策定する必要がある。			引き続きモニタリングを実施するとともに、施設の良好な維持管理、高質な利用者サービスの提供に努めていく。 今後も毎年度アンケートを実施し、さらなる満足度向上に向けて取り組んでいく。 魅力的な展示等を通じてより多くの方に来館していただき、満足していただけるよう、指定管理者に対し指導・助言を行っていく。 施設の老朽化を踏まえた機能向上のあり方や進め方について、有識者などから意見を聞きながら、計画作成に向け県および市と連携し取り組んでいく。	

1 PLAN(目的・概要)

政策名		環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	4年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 金城・中川・南5区 担当課長
施策名				成果	コスト		
事務事業名		金城ふ頭における交流拠点開発の円滑な推進	継続	維持	維持	連絡先	052-654-7978
目的	対象(誰・何を)	金城ふ頭				連携課	管財課、港湾管理事務所
	意図(どういう状態にしたいか)	物流機能との共存を図りながら交流拠点開発を円滑に推進する。				事業期間	平成29年度～
概要		名古屋市のモノづくり文化交流拠点構想の具体化を図るため、レゴランド・ジャパンを核とした複合開発に協力している。今後もレゴランド・ジャパンの拡張や国際展示場第2展示館の移転改築等が予定されていることから、物流機能との共存を図りながら交流拠点開発を円滑に推進する。				根拠法令等	
						実施義務	☒ 有 ☐ 無
						関連シート	

2 DO(実施)

令和5年度に実施した内容・結果		大規模イベント開催時における交通対策等について、名古屋市と連携し港湾関係者の意見を踏まえながら調整を行った。名古屋市が実施する交通量調査に合わせ、目視調査を実施し港湾物流に大きな支障がないことを確認した。					
コスト	単位	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	0	0	0	0	0	
人件費	千円	11,926	11,926	11,700	11,700	11,830	
合計	千円	11,926	11,926	11,700	11,700	11,830	

3 CHECK(検証)

成果目標名		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	達成度	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
港湾関係者等の意見に対応した割合(%)	目標	100	100	100	100	100	100%	交流拠点開発に伴う港湾関係者等からの意見・苦情等に対応した割合 対応した件数/意見・苦情等の件数×100 (意見・苦情等が0件の場合は100%とする) 意見・苦情等の件数 令和元年度:7件、令和2年度:4件、令和3年度:7件、令和4年度:3件、令和5年度:7件	
	実績	100	100	100	100	100			
【単年度管理型】	事業進捗状況(5年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る				目標値どおり 目標値を下回る		
	目標								
	実績								
	事業進捗状況(5年度)								
達成状況と達成度からみた課題 (外部要因等を踏まえた)			港湾関係者からの意見等について、名古屋市や関係機関等と調整し対応した。						
必要性・有効性・効率性の検証			評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？	○		物流機能との共存を図りながら、名古屋市等とともに交流拠点開発を円滑に推進する必要がある。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？	○							
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？	○		交流開発拠点が推進されることにより、うるおいと魅力のある港湾空間の形成、さらなるにぎわいの創出が期待される。					
	期待どおりの成果が得られているか？	○							
効率性	最小のコストとなっているか？	○		最小限の人員で対応している。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	6年度以降の方向性		判断理由	
	成果	コスト		
	継続	維持	維持	金城ふ頭は港湾物流の拠点でもあることから引き続き、物流との共存を図りながら交流拠点開発を推進し、うるおいと魅力のある港湾空間を形成する必要があるため。
		取組みおよび資源（財・人）の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題・新たに予測される課題			6年度以降の取組	
交流拠点開発は、物流機能への影響がないよう進めていく必要がある。			物流機能と共存した交流拠点開発を進めるにあたり、大規模イベント時等の交通対策について、港湾関係者の意見を踏まえながら、引き続き、名古屋市や関係機関等と連携し進めていく。	

1 PLAN(目的・概要)

政策名		環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	4年度事業・施策評価結果			責任者	企画調整室 環境担当課長
施策名		うるおいと魅力のある港湾空間の形成		成果	コスト		
事務事業名		魅力ある港湾景観の形成	継続	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7892 港営課・管財課
目的	対象(誰・何を)	名古屋港内の景観				事業 期間	平成5年度～
	意図(どうい う状態にしたいか)	ロマンと活気にあふれた港づくりを目指して、魅力ある良好なものにしていく。					
概要		臨港地区内の建築物等の景観について、名古屋港景観基本計画及びカラー計画マニュアルと整合が図られるよう事業者と調整する。また、名古屋港の歴史を物語る景観資源(歴史資源)の適正な管理に努める。 名港トリトンについては、ライトアップの今後のあり方を検討するとともに、既存設備の維持補修を行う。				根拠 法令等	
						実施義務	☐ 有 ☒ 無
						関連	

2 DO(実施)

令和5年度に実施した 内容・結果	名古屋港カラー計画について13件の審査を行った。 景観アドバイザー制度について3件の相談を受けた。 歴史資源の維持管理マニュアルの作成作業を行った。 名港トリトンのライトアップの再開について関係者と調整を行い、また既存設備の維持補修を行った。						
コスト	単位	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	28	6,528	641	2,715	16,038	令和5年度は名港トリトンライトアップ設備の維持補修に関わる事業費が増加した。
人件費	千円	3,670	7,339	6,300	8,100	7,735	
合計	千円	3,698	13,867	6,941	10,815	23,773	

3 CHECK(検証)

成果目標名		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	達成度	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
カラー計画マニュアルとの整合率(%)	目標	100	100	100	100	100	75%	臨港地区内行為の届出等において、建築物等がカラー計画マニュアルと整合するように調整できた件数の割合を指標とする。(企業色や整合する既製品がない場合は対象外とする。) カラー計画マニュアルとの整合件数／審査件数×100(%)	
	実績	100	54	50	25	75			
【単年度管理型】	事業進捗状況(5年間)	目標値を上回る 目標値をやや下回る			目標値どおり 目標値を下回る				
歴史資源5施設の維持管理マニュアル作成率(%)	目標	40	60	80	100	100	達成	歴史資源5施設のうち維持管理マニュアルを作成した施設の数の割合(%)を指標とする。	
	実績	20	80	80	80	100			
【進行管理型】	事業進捗状況(5年間)	順調 ・ やや遅れ ・ 遅れ							
名港トリトンライトアップの検討の進捗状況(全3工程)	目標				1	2	未達成	以下の項目のうち、完了した工程数 ①ライトアップ設備のあり方について関係者と検討開始 ②耐震補強工事後のライトアップ再開に向けた調整 ③その後のライトアップ設備のあり方に関する関係者合意	
	実績				1	1			
【進行管理型】	事業進捗状況(5年間)	順調 ・ やや遅れ ・ 遅れ							
5年度までの達成状況に関する説明(要因・課題)		カラー計画マニュアルは、建築行為等の際に整合への協力要請を行っており、マニュアルの整合率は、周辺の建物と同色にするなどの理由により、協力を得られなかった事業者もあったため、目標値をやや下回った。 歴史資源施設の維持管理マニュアルは、令和5年5月に完成した。 名港トリトンライトアップの耐震補強工事後のライトアップ再開に向けて調整を行っているが、業者からの申し出により復旧に必要な資材の調達の見通しが立たないことが判明したため、休止期間を延長している。							
必要性・有効性・効率性の検証		評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？	○	港内の良好な景観形成を計画的に進捗するために必要である。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？	○							
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？	○	「うるおいと魅力のある港湾空間の形成」に貢献している。景観審査におけるカラー計画との整合率はやや下回ったが、カラー計画への整合について周知・要請することにより、事業者の協力を得たことから、成果は得られている。名港トリトンライトアップについては、ライトアップ再開は遅れているものの、再開に向けて調整を進めている。						
	期待どおりの成果が得られているか？	△							
効率性	最小のコストとなっているか？	○	事業者からの相談に応じて、アドバイザーに相談している。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	6年度以降の方向性		判断理由	
	成果	コスト		
	継続	維持	維持	今後も継続して、魅力ある景観づくりに取り組んでいく必要があり、引き続き目標達成を目指すため、成果は「維持」とし、コストも「維持」とする。
		取組および資源（財・人）の投入は妥当である。現状を維持する。		
今後の課題等			6年度以降の取組	
カラー計画マニュアルは策定から10年以上、景観基本計画については20年以上が経過しており、景観形成に関する環境変化に対応できるよう、計画内容を検証する必要がある。 名港トリトンについては、まずは耐震補強工事後のライトアップの再開が円滑に進むよう調整する必要がある。			事業者が新築・改築の手続きを行う際、カラー計画を認識する機会を増やすよう、検討・調整を進めていく。カラー計画マニュアルや景観基本計画について、これまでの成果の内容を分析し、他の自治体の計画を確認するなど検証を行っていく。 名港トリトンについては、道路管理者と適宜調整を実施する。	

1 PLAN(目的・概要)

政策名		環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり			4年度事業・施策評価結果			責任者	港営部 関連事業担当課長	
施策名		うるおいと魅力のある港湾空間の形成								
事務事業名		名古屋港ポートビルの管理・運営			継続	拡大	維持	連絡先	052-654-7836	
目的	対象(誰・何を)	広く一般の利用者						連携課		
	意図(どういう状態にしたいか)	海事に関する知識の普及により、海事思想の高揚を図る。						事業期間	平成18年度～	
概要		名古屋港ポートビルおよび南極観測船ふじの良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供する。						根拠法令等	指定管理者による公の施設の管理に関する条例、名古屋港ポートビル条例	
								実施義務	☐ 有 ☐ 無	
								関連シート		

2 DO(実施)

令和5年度に実施した内容・結果	指定管理者とのモニタリングを毎月実施した。また、モニタリング結果を基に、指定管理者の業務内容を評価し、それを名古屋港管理組合のホームページで公表した。 海事思想に関する理解を深めるため、第64次南極地域観測隊に参加した南極観測船ふじ学芸員による帰国報告会や、南極観測船ふじ、海洋博物館および展望室において、企画展「南極写真展」を開催した。 また、広く一般を対象とした「ボトルシップ製作講座」を開催する等、海事に関する企画・展示を行い、海事に関する知識の普及に努めた。 加えて、名古屋港ポートビルおよび南極観測船ふじのさらなる認知度向上を目指し、イベント情報のほか景観等も素材とした、SNSへの投稿を行うなど情報発信を行った。									
コスト	単位	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	備考(費用の増減理由等)			
事業費	千円	148,110	128,817	129,772	93,498	141,554	令和5年度は入館者数が増加したため、利用料金制度(施設利用料により運営)における指定管理者の収支不足のための指定管理料の支出はなかったが、施設工事費が増加したため事業費が増加した。			
人件費	千円	4,679	4,672	4,590	4,590	5,005				
合計	千円	152,789	133,489	134,362	98,088	146,559				

3 CHECK(検証)

成果目標名		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	達成度	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
入館者数(万人)	目標	46	46	47	47	48	98%	指定管理者の目標値を参考に、平成30年度の入館者数(46万人)を2万人上回る48万人を令和5年度の目標値とする。	天気 景気
	実績	45	15	25	38	47			
【単年度管理型】	事業進捗状況(5年間)	目標値を上回る 目標値をやや下回る			目標値どおり 目標値を下回る				
来館者の満足度(%)	目標	80	80	83	83	85	達成	平成30年度の満足度(80%)を5%上回る85%を令和5年度の目標値とする。	
	実績	85	-	85	86	86			
【単年度管理型】	事業進捗状況(5年間)	目標値を上回る 目標値をやや下回る			目標値どおり 目標値を下回る				
5年度までの達成状況に関する説明 (要因・課題)		令和5年度の入館者数は令和4年度より大幅に回復したものの、南極観測船ふじの小火発生による臨時休館の影響等を受け、目標値をやや下回った。5年間の入館者数は、感染症の影響により令和2年度、3年度の落ち込みが特に大きかったが、回復してきている。 令和5年度の入館者の満足度は、目標値を上回っており、展示内容等への意見についても概ね良好であった。5年間の満足度についても、調査を行わなかった令和2年度以外は目標値を上回っている。							
必要性・有効性・効率性の検証		評価		評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？	○		海事に関する知識の普及は、本組合として必要と考える。 また、広く一般の利用を対象としており、ニーズに応えている。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？	○							
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？	○		入館者数は南極観測船ふじ臨時休館の影響等により目標をわずかに下回ったが、満足度は高く、海事に関する展示を通じた海への親しみと知識の普及に貢献している。					
	期待どおりの成果が得られているか？	△							
効率性	最小のコストとなっているか？	○		施設の維持修繕等は優先順位を定め、最小のコストで最大の効果が得られるよう努めている。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	6年度以降の方向性			判断理由
		成果	コスト	
	継続	拡大	維持	南極観測船ふじ臨時休館の影響により、入館者数は「目標値をやや下回る」結果となり、目標値を上回る水準まで増加させる必要があること、令和6年度のポートビル40周年を契機としてさらなるSNS等の活用に取り組み、より効率的に海事に関する知識の普及を図る必要があることから、成果は「拡大」とする。 コストは「維持」とする。
		資源（財・人）の投入は維持したまま、取組を強化することによって、成果をあげる必要がある。		
今後の課題等				6年度以降の取組
入館者の増加策。				引き続きモニタリングを実施するとともに、施設の良好な維持管理、高質な利用者サービスの提供に努め、魅力的な展示やSNSの活用等を通じてより多くの方に来館していただけるよう、指定管理者に対し助言を行っていく。

1 PLAN(目的・概要)

政策名		環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	4年度事業・施策評価結果			責任者	港営部 関連事業担当課長
施策名				成果	コスト		
事務事業名		名古屋港湾会館の管理・運営	継続	維持	維持	連絡先	052-654-7836
目的	対象(誰・何を)	港湾関係者、船員その他海事関係者をはじめとした利用者				連携課	
	意図(どういう状態にしたいか)	文化および教養の向上と福祉の増進を図る。				事業期間	平成18年度～
概要		名古屋港湾会館の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供する。				根拠法令等	指定管理者による公の施設の管理に関する条例、名古屋港湾会館条例
						実施義務	☐ 有 ☒ 無
						関連シート	

2 DO(実施)

令和5年度に実施した内容・結果	指定管理者とのモニタリングを毎週(週間モニタリング)および毎月(月間モニタリング)実施した。また、モニタリング結果を基に指定管理者の業務内容を評価し、それを名古屋港管理組合のホームページで公表した。会議室予約システムのリニューアル、Wi-Fi機器の増設等利用促進に努め、2,658件の利用があった。						
コスト	単位	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	66,042	72,212	62,068	57,956	57,682	
人件費	千円	3,761	3,756	3,690	3,690	3,731	
合計	千円	69,803	75,968	65,758	61,646	61,413	

3 CHECK(検証)

成果目標名		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	達成度	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
会議室の利用率(%)	目標	33	33	34	34	35	100%	平成30年度の利用率(33%)を2%上回る35%を令和5年度の目標値とする。 (利用率:提供可能な会議室数のうち使用された会議室数の割合)	
	実績	32	21	27	35	35			
【単年度管理型】	事業進捗状況(5年間)		目標値を上回る 目標値をやや下回る				目標値どおり 目標値を下回る		
	目標								
	実績								
	事業進捗状況(5年間)								
5年度までの達成状況に関する説明 (要因・課題)		感染症の影響により令和2年度、3年度は落ち込みが特に大きかったため会議室の利用率は目標を下回ったものの、その後順調に回復してきており、令和4年度以降は目標を達成している。							
必要性・有効性・効率性の検証			評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？	☐ 港湾関係者、船員その他海事関係者をはじめとした利用者により文化および教養の向上と福祉の増進を図ることは重要であるとする。また、一般の利用者にも開放しており、ニーズに応えている。							
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？	☐							
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？	☐ 会議室の利用率は、各種講演会、企業研修、健康診断等での利用により目標値を達成しており、文化および教養の向上と福祉の増進に貢献している。							
	期待どおりの成果が得られているか？	☐							
効率性	最小のコストとなっているか？	☐ 施設の維持修繕等は優先順位を定め、最小のコストで最大の効果が得られるよう努めている。							

4 ACTION(取組)

施策評価結果	6年度以降の方向性		判断理由	
	成果	コスト		
	継続	維持	維持	目的を達成するための事業の必要性に中期経営計画策定時から変化がないため。
		取組および資源（財・人）の投入は妥当である。現状を維持する。		
今後の課題等			6年度以降の取組	
利用者のニーズを把握し、さらなる利用率の向上に向けた取組を行っていく必要がある。			引き続きモニタリングを実施するとともに、施設の良好な維持管理、高質な利用者サービスの提供に向け、指定管理者に対し助言を行っていく。	

施04事07

1 PLAN(目的・概要)

政策名		環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	4年度事業・施策評価結果			責任者	港営部 関連事業担当課長
施策名				成果	コスト		
事務事業名		臨港緑地の管理・運営	継続	維持	維持	連絡先	052-654-7836
目的	対象(誰・何を)	広く一般の利用者				連携課	
	意図(どういう状態にしたいか)	にぎわいや憩いの空間を提供する。				事業期間	平成18年度～
概要		臨港緑地の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供する。				根拠法令等	指定管理者による公の施設の管理に関する条例、名古屋港管理組合臨港緑地条例
						実施義務	☐ 有 ☒ 無
						関連シート	

2 DO(実施)

令和5年度に実施した 内容・結果	指定管理者とのモニタリングを毎月実施し、モニタリングの結果を基に指定管理者の業務内容を評価し、新たに名古屋港管理組合のホームページで公表した。 また、にぎわいや憩いの空間を提供するために、コロナ禍で休止していたイベントを再開するとともに、名古屋港ゴルフ倶楽部でのヨガイベントや新舞子マリナーパークでのビーチ運動会など新たなイベントを開催した。 なお、名古屋港ゴルフ倶楽部については、指定管理者からの提案により、指定管理業務により発生した利益の一部の納付を本組合が受けている。							
	コスト	単位	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	備考（費用の増減理由等）
	事業費	千円	510,669	349,752	325,451	390,871	305,796	指定管理者の経営努力による指定管理料の減少や計画的な維持管理を進めている中で令和5年度の緑地施設工事費が減少したことにより、令和4年度と比較して令和5年度事業費が減少した。
	人件費	千円	28,531	28,491	27,990	27,990	21,749	
	合計	千円	539,200	378,243	353,441	418,861	327,545	

3 CHECK(検証)

成果目標名		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	達成度	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
利用者数(万人)	目標	56.2	56.8	57.5	57.8	58	100%	指定管理者の目標値を参考に、平成30年度の野球場、テニスコート、運動広場、サイクリングロード、マリナパーク(魚釣り含む)およびゴルフ場の利用者数(52万人)を12%上回る58万人を令和5年度の目標値とする。	天候 感染症
	実績	52.6	57.6	62.8	58.6	57.9			
【単年度管理型】	事業進捗状況(5年間)		目標値を上回る 目標値をやや下回る				目標値どおり 目標値を下回る		
利用者の満足度(%)	目標	76	77	78	79	80	達成	平成30年度の満足度(75%)を5%上回る80%を令和5年度の目標値とする。	
	実績	83	78	78	82	80			
【単年度管理型】	事業進捗状況(5年間)		目標値を上回る 目標値をやや下回る				目標値どおり 目標値を下回る		
5年度までの達成状況に関する説明 (要因・課題)		利用者数は、コロナ渦による屋外施設の利用増加があったものの落ち着きが見られてきており、5年間を通してほぼ目標どおりとなった。 満足度についても、5年間を通してほぼ目標通りとなった。							
必要性・有効性・効率性の検証		評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？	○	港湾の緑地を整備し運営することは、港湾管理者の責務であり、本組合の関与が必要と考える。また、運動施設・緑地等の管理・運営により、港のにぎわいと憩いの空間の創出につなげている。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？	○							
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？	○	利用者数はコロナ渦による屋外施設の利用の増加に落ち着きが見られてきていることもあり、目標値をわずかに下回ったが、概ね目標値であり、満足度も高いことから、施策達成に貢献している。						
	期待どおりの成果が得られているか？	○							
効率性	最小のコストとなっているか？	○	施設の維持修繕等に関し優先順位を定め、最小のコストで最大の効果が得られるよう努めている。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果		5年度以降の方向性		判断理由
		成果	コスト	
継続		維持	維持	目的を達成するための事業の必要性に中期経営計画策定時から変化がないため。
		取組および資源（財・人）の投入は妥当である。現状を維持する。		
今後の課題等				6年度以降の取組
利用者数の維持と施設の維持管理の効率化。				引き続きモニタリングを実施するとともに、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスの提供に努め、イベントを実施することで多くの方に利用してもらえるよう、指定管理者に対し助言を行っていく。

1 PLAN(目的・概要)

政策名		環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	4年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 事業推進課長
施策名		うるおいと魅力のある港湾空間の形成					
事務事業名		中川運河緑地(堀止地区)整備事業	継続	維持	維持	連絡先	052-654-7921
目的	対象(誰・何を)	中川運河(堀止地区)				連携課	計画担当、環境担当、工事課、港湾工事事務所
	意図(どういう状態にしたいか)	人びとが港の雰囲気を楽しむことのできる水辺空間を整備し、地域環境の向上を図る。				事業期間	平成20年度～令和5年度
概要		整備場所:名古屋市中川区運河町、中村区運河町 内容・規模:「親しまれるみなと」を実現するため、市街地の貴重な水辺空間に緑地を整備する。用地を造成し、水辺周辺一帯を緑地(1.1ha)として整備(用地・護岸、緑地)する。 全体事業費:9.9億円(令和2年度12億円から変更) 事業手法:防災・安全交付金事業(令和2年度より港湾環境整備事業)				根拠法令等	名古屋港港湾計画、中川運河再開発基本計画、中川運河再生計画
						実施義務	☐ 有 ☒ 無
						関連シート	

2 DO(実施)

令和5年度に実施した内容・結果		水辺一体の緑地整備として植栽等を行った。					
コスト	単位	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	13,113	26,712	18,806	7,359	21,711	
人件費	千円	1,651	1,283	2,160	2,070	1,092	
合計	千円	14,764	27,995	20,966	9,429	22,803	

3 CHECK(検証)

成果目標名		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	達成度	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因		
整備面積(ha)	目標	0.84	0.86	1.07	1.08	1.1	達成	整備面積は事業費による換算数量である。	周辺 地区 再開発		
	実績	0.84	0.86	1.07	1.08	1.1					
【進行管理型】	事業進捗状況(5年間)			順調・やや遅れ・遅れ							
	目標										
	実績										
	事業進捗状況(5年間)										
5年度までの達成状況に関する説明 (要因・課題)		ささしまライブ24地区の土地区画整理事業等と一体的な整備を進め、予定通り令和5年度に完成した。									
必要性・有効性・効率性の検証		評価	評価に関する説明								
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？	○	堀止に隣接するささしまライブ24地区の土地区画整理事業等と連携して地元のニーズを取り込みながら整備を進め、地域環境の向上を図る必要がある。								
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？	○									
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？	○	緑地の一部を供用開始しており、人びとが港の雰囲気を楽しむことのできる水辺空間を整備し地域環境の向上を図ることは上位施策である「うるおいと魅力ある港湾空間の形成」に貢献すると考えている。本事業の進捗状況としては、順調に進んだ。								
	期待どおりの成果が得られているか？	○									
効率性	最小のコストとなっているか？	○	堀止に隣接するささしまライブ24地区の土地区画整理事業等と連携して効率的に整備を進め、コスト削減に努めた。								

4 ACTION(取組)

施策評価結果	6年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
	完了		
今後の課題等			6年度以降の取組

1 PLAN(目的・概要)

政策名		環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	4年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 事業推進課長
施策名		うるおいと魅力のある港湾空間の形成					
事務事業名		中川運河水質改善事業	継続	維持	維持	連絡先	052-654-7921
目的	対象(誰・何を)	中川運河				連携課	環境担当、工事課
	意図(どういう状態にしたいか)	中川運河の水循環を促進し、市民等が水辺を不快なく散策できる水環境の創出を図る。				事業期間	平成26年度～令和5年度
概要		整備場所:名古屋市中川区運河町、中川区西日置 内容・規模:中川運河の水循環を促進するため、松重ポンプ所の改修、露橋水处理センターからの高度処理水の活用(吐出管設置)を実施する。 全体事業費:10.7億円(令和3年度18.1億円から変更) 事業手法:社会資本整備総合交付金事業(令和2年度より港湾環境整備事業)				根拠法令等	
						実施義務	☐ 有 ☒ 無
						関連シート	

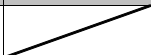
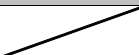
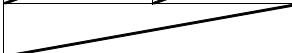
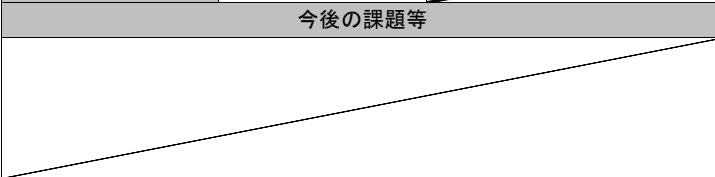
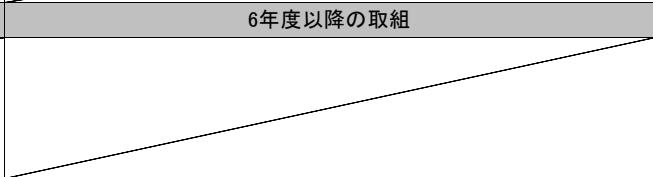
2 DO(実施)

令和5年度に実施した内容・結果	松重ポンプ所の改修(新築工事、ポンプ設備工事、受変電設備工事、除塵設備工事)を行い完成した。						
コスト	単位	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	12,358	97,829	98,000	379,950	132,179	令和4年度に建屋工事が完了したため、事業費が減少した。
人件費	千円	1,651	1,283	2,160	2,070	1,092	
合計	千円	14,009	99,112	100,160	382,020	133,271	

3 CHECK(検証)

成果目標名		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	達成度	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
事業の進捗状況 (全5工程)	目標	4	4	4	4	5	達成	以下の項目のうち完了した工程数 ① 調査 ② 事業採択 ③ 設計(松重ポンプ所改修) ④ 吐出管設置(高度処理水活用) ⑤ 松重ポンプ所改修	
	実績	4	4	4	4	5			
【進行管理型】	事業進捗状況(5年間)		順調　やや遅れ　・　遅れ						
	目標								
	実績								
	事業進捗状況(5年間)								
5年度までの達成状況に関する説明 (要因・課題)			予定通り事業完了した。						
必要性・有効性・効率性の検証			評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？	○	港湾管理者として中川運河再生計画に基づき松重ポンプ所の改修等を行い、水質改善に取り組んでいく必要がある。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？	○							
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？	○	中川運河の良好な水環境の創出は、上位施策である「うるおいと魅力のある港湾空間の形成」に貢献すると考えている。						
	期待どおりの成果が得られているか？	○							
効率性	最小のコストとなっているか？	○	関係行政機関、学識者を交えた委員会により経済性を踏まえて策定した施策であり、事業実施に向けコスト削減に努めた。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	6年度以降の方向性		判断理由	
	成果	コスト		
	完了			
				
今後の課題等			6年度以降の取組	
				

1 PLAN(目的・概要)

政策名		環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	4年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 金城・中川・南5区 担当課長
施策名				成果	コスト		
事務事業名		海上交通ネットワークの形成	継続	維持	維持	連絡先	052-654-7978
目的	対象(誰・何を)	金城ふ頭、ガーデンふ頭、中川運河、堀川				連携課	工事課、事業推進課
	意図(どういつ状態にしたいか)	港内の各地区間や港と背後地域を結ぶ、新たな交流の道筋となる“水の交流軸”の形成を図る。				事業期間	平成30年度～令和6年度
概要		中川運河や堀川を利用し、歴史資産、観光拠点を巡る海上交通ネットワークの形成を図る。				根拠法令等	
						実施義務	☐ 有 ☒ 無
						関連シート	

2 DO(実施)

令和5年度に実施した内容・結果	海上交通ネットワークの形成を進めるため、利便性の向上に向け金城ふ頭小型栈橋の整備工事を進めた。						
コスト	単位	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	33,118	34,056	0	318,574	181,199	令和4年度は、事業費の大きい浮栈橋の製作設置を行ったことにより、令和5年度は減少した。
人件費	千円	10,091	10,077	9,900	7,650	7,735	
合計	千円	43,209	44,133	9,900	326,224	188,934	

3 CHECK(検証)

成果目標名		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	達成度	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
金城ふ頭小型桟橋整備 の進捗状況 (全4工程)	目標	2	3	3	4	4	未達成	下記項目のうち完了した工程数 ① 基本計画 ② 基本設計 ③ 実施設計 ④ 整備	感染症 の影響 等
	実績	2	3	3	3	3			
【進行管理型】	事業進捗状況(5年間)		順調・やや遅れ・遅れ						
	目標								
	実績								
	事業進捗状況(5年間)								
5年度までの達成状況に関する説明 (要因・課題)		新型コロナウイルス感染症の影響や入札不調による工事の遅れなどにより、未達成であるものの、令和6年度には整備完了の見込みである。							
必要性・有効性・効率性の検証		評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？	○	うるおいと魅力ある港湾空間の形成のためには、海上交通ネットワークの形成を進める必要がある。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境に あっているか？	○							
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？	○	金城ふ頭の小型桟橋の整備により、海上交通ネットワークの形成に向け、利便性を向上させることができる。 感染症等の影響から事業進捗状況はやや遅れているものの、整備完了に向けて進められており、成果が得られている。						
	期待どおりの成果が得られているか？	△							
効率性	最小のコストとなっているか？	○	コストが最小になるよう事業を進めている。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	6年度以降の方向性		判断理由	
	成果	コスト		
	延伸	維持	維持	利便性の向上を図りながら海上交通ネットワークの形成を進め、うるおいと魅力のある港湾空間の形成に向け、金城ふ頭小型栈橋整備を完了する必要があるため。
		取組みおよび資源（財・人）の投入は妥当である。現状を維持する。		
今後の課題等			6年度以降の取組	
水上交通の誘導を進める名古屋市との連携。			金城ふ頭小型栈橋整備の令和6年度完了を目指す。 また、水上交通の誘導を進める名古屋市と引き続き連携していく。	

1 PLAN(目的・概要)

政策名		環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	4年度事業・施策評価結果			責任者	港営部 誘致推進課長
施策名				成果	コスト		
事務事業名		クルーズ船誘致の推進	継続	維持	維持	連絡先	052-654-7835
目的	対象(誰・何を)	クルーズ船				連携課	危機管理課、関連事業室、 海務課、港湾管理事務所
	意図(どういう 状態にしたいか)	名古屋港へのクルーズ船の寄港増加に向けた取組を進め、港の魅力や親しみの向上を図る。					
概要		名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議で策定した「名古屋港クルーズ船誘致に向けた行動計画」に基づき、クルーズ需要喚起に向けた情報発信や魅力発信に取り組む。				根拠 法令等	
						実施義務	☐ 有 ☒ 無
						関連 シート	

2 DO(実施)

令和5年度に実施した内容・結果	フェイスブック等のSNSを活用し、国内クルーズ船や外航クルーズ船の入出港等に加え、クルーズセミナーの開催、市民クルーズの実施などについて情報発信した。また、ホームページにてクルーズ船の入港予定のほか「名古屋港におけるクルーズ船受入の際の感染拡大予防マニュアル」の廃止、クルーズ船初入港について県民・市民に対し情報発信した。					
コスト	単位	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費	千円	843	93	55	136	213
人件費	千円	17,889	17,864	17,550	17,550	17,745
合計	千円	18,732	17,957	17,605	17,686	17,958

3 CHECK(検証)

成果目標名		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	達成度	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
情報発信数(件)	目標	10	30	33	36	40	達成	一般市民向けにSNS等を活用したクルーズ船情報等発信数	感染症
	実績	10	15	20	44	51			
【単年度管理型】	事業進捗状況(5年間)		目標値を上回る 目標値をやや下回る					目標値どおり 目標値を下回る	
	目標								
	実績								
	事業進捗状況(5年間)								
5年度までの達成状況に関する説明 (要因・課題)			当初の目標通り徐々に発信件数を増加することができた。 特に昨年度は、令和5年3月の外航クルーズ船入港再開により外航クルーズ船が多く寄港したことから、その機会を捉え効果的な情報発信ができた。						
必要性・有効性・効率性の検証			評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？		○	クルーズ船の誘致推進は港湾管理者である本組合が主体的に取り組むべき事業と考えます。港の認知度向上に資するように努めていく必要がある。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境に あっているか？		○						
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？		○	クルーズ船への親しみを深め、関心を高めることが施策目標の達成には必須の条件と考える。令和5年度は、多くの外内航のクルーズ船を受け入れることができ、うるおいと魅力のある港湾空間の形成に貢献していると考える。					
	期待どおりの成果が得られているか？		○						
効率性	最小のコストとなっているか？		○	実施にあたっては直接的な支出を抑えて行っている。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	6年度以降の方向性		判断理由	
	成果	コスト		
	継続	維持	維持	目的を達成するための事業の必要性に中期経営計画策定時から変化がないため。
		取組および資源（財・人）の投入は妥当である。現状を維持する。		
今後の課題等			6年度以降の取組	
引き続き3号岸壁改良工事に伴い一般来港者の見学スペースに制限がかかる中で、適切な情報発信を行うことでトラブルを未然に防ぐ必要がある。また、今後も継続して適切な情報発信を行う必要がある。			国内クルーズ船および外航クルーズ船の今後の寄港増加の機会を捉え、引き続き積極的かつ効果的な情報発信を行っていく。	

1 PLAN(目的・概要)

政策名		環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	4年度事業・施策評価結果			責任者	港営部 誘致推進課長
施策名				成果	コスト		
事務事業名		クルーズ船乗客の安全で円滑な受入対応	継続	維持	維持	連絡先	052-654-7835
目的	対象(誰・何を)	クルーズ船乗客				連携課	危機管理課、関連事業室、 海務課、港湾管理事務所
	意図(どういう 状態にしたいか)	乗客が安心して名古屋港で乗下船したり寄港地観光等に向かうことができるよう、クルーズ船 寄港時の受入態勢を整え、適切に対応する。				事業 期間	平成6年度～
概要		クルーズ船運航船社や関係官庁等と協議の上、必要な受入態勢を整えるとともに港湾運送事 業者等他の利用者の状況も踏まえふ頭全体で安全で円滑な対応ができるよう取り組む。				根拠 法令等	
						実施義務	☐ 有 ☒ 無
						関連 シート	

2 DO(実施)

令和5年度に実施した内容・結果		ガーデンふ頭3号岸壁改良工事の影響により、入港するクルーズ船の一部を2号岸壁、金城ふ頭で受け入れを行った。感染症の法律上の位置づけが令和5年5月に見直されたことに伴い、名古屋港のマニュアル(感染症対策)を廃止したものの、引き続き感染症の状況を見据えながら受け入れを行った。 外航クルーズ船20隻、国内クルーズ船10隻の合計30隻について、安全で円滑な受け入れを行った。					
コスト	単位	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	9,062	1,681	2,471	31,249	122,999	外航クルーズ船の入港隻数が、令和4年度より増加したため事業費が増加している。
人件費	千円	17,889	17,864	17,550	17,550	17,745	
合計	千円	26,951	19,545	20,021	48,799	140,744	

3 CHECK(検証)

成果目標名		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	達成度	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
受入対応に起因する事故件数(件)	目標	0	0	0	0	0	達成	クルーズ船の受入対応を業務として遂行する上で、安全かつ円滑に取組むことが第一と考える。本組合が取組むクルーズ船受入対応に起因する事故件数を0件にすることを目標とする。	
	実績	0	0	0	0	0			
【単年度管理型】	事業進捗状況(5年間)		目標値を上回る 目標値をやや下回る				目標値どおり 目標値を下回る		
	目標								
	実績								
	事業進捗状況(5年間)		順調 ・ やや遅れ ・ 遅れ						
5年度までの達成状況に関する説明 (要因・課題)			受入れに起因する事故件数は5年間0件で、目標を達成することができた。						
必要性・有効性・効率性の検証			評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？		○	クルーズ船の受入対応は港湾管理者である本組合の事業であり、乗客の安全、円滑な受入を適切に実施することが求められる。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？		○						
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？		○	クルーズ船寄港時の受入体制を適切に整えることにより、船社および乗客に対し安全を提供することができる。					
	期待どおりの成果が得られているか？		○						
効率性	最小のコストとなっているか？		○	一定期間のクルーズ船受入業務委託の発注をまとめて行うことで1寄港当たりの費用を抑えるよう努めて実施している。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	6年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
	継続	維持	
取組および資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。			目的を達成するための事業の必要性に中期経営計画策定時から変化がないため。
今後の課題等			6年度以降の取組
今後クルーズ船の入港の増加が想定されるため、安全で円滑な受入態勢を確保しつつ更なる受入費用の削減の検討が必要である。			乗客の安全で円滑な受入体制を確保しつつ設営物の配置や仕様書を見直し、クルーズ船受入費用の内、歓送迎行事等を精査するなど受入費用削減について検討する。 なお、受入の業務については、効率化に向けて令和7年度から指定管理者制度を活用していく。